

文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」

2020年度 連携型共同研究 成果報告書

研究課題名	多世帯居住における研究開発
研究代表者	河崎 由美子（積水ハウス株式会社 住生活研究所長）
共同研究者	小伊藤 亜希子（大阪市立大学 生活科学研究科 教授） 近藤 雅之（積水ハウス株式会社 住生活研究所 課長） 平岡 千穂（積水ハウス株式会社 住生活研究所 社員）
<p>研究成果</p> <p>「産学官連携ウィメンズユニット」による共同研究プロジェクト</p> <p>●一般生活者に対する知見発信</p> <p>2019年度までの研究結果について一般生活者へ周知し、暮らしリテラシーの向上を図るため、積水ハウス住ムフムラボ HP におけるコラム掲載（2本）、知見まとめ冊子制作（1本）を実施した。</p> <p>分かりやすく取り入れやすい発信とするため、学術研究の一般生活者向け表現への変換、知見の整理や表現検討を行った。</p> <p>当初は、積水ハウス住ムフムラボ施設内や大学等の教育施設での展示、セミナー等を計画していたが、新型コロナウイルスによる社会環境変化に合わせて、インターネット上・紙面上での発信とすることで、より継続的かつ広範囲の発信となった。</p> <p>○住ムフムラボ HP へのコラム掲載</p> <p>近居する親世帯と子世帯の研究知見を用いて、近居の暮らしの住まい方を紹介する。</p> <p>小伊藤先生の取材をもとに構成したもの、データを中心に展開するもの、各1本。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親との最適な住まいの距離感って？令和時代の暮らし方を専門家に聞く URL：https://www.sumufumulab.jp/study/20210212/ ・研究データからひも解く、上手な「近居」家族の始め方 URL：https://www.sumufumulab.jp/study/20210308/ <p>○コラム掲載の紹介</p> <p>住ムフムラボ研究メンバーへ向けたニュースレターにて紹介。</p> <p>また、コラム掲載について、以下サイト・アカウントで紹介いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立大学女性研究者支援室 HP URL：https://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/2021/03/11/news_20210311/ ・ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）HP URL：https://diversity-oows.jp/2021/03/11/news_202103011/ ・大阪市立大学 HP SDGs サイト URL：https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/sdgs ・大阪市立大学 Facebook URL：https://www.facebook.com/OsakaCityUniv <p>●2019年度共同研究結果共有会（オンラインで開催）</p> <p>積水ハウス社員を対象とした結果共有会を実施した。2時間の報告会で、参加者は21名。研究知見の共有とディスカッションにより、研究に関する意見交換ができる場となった。</p>	